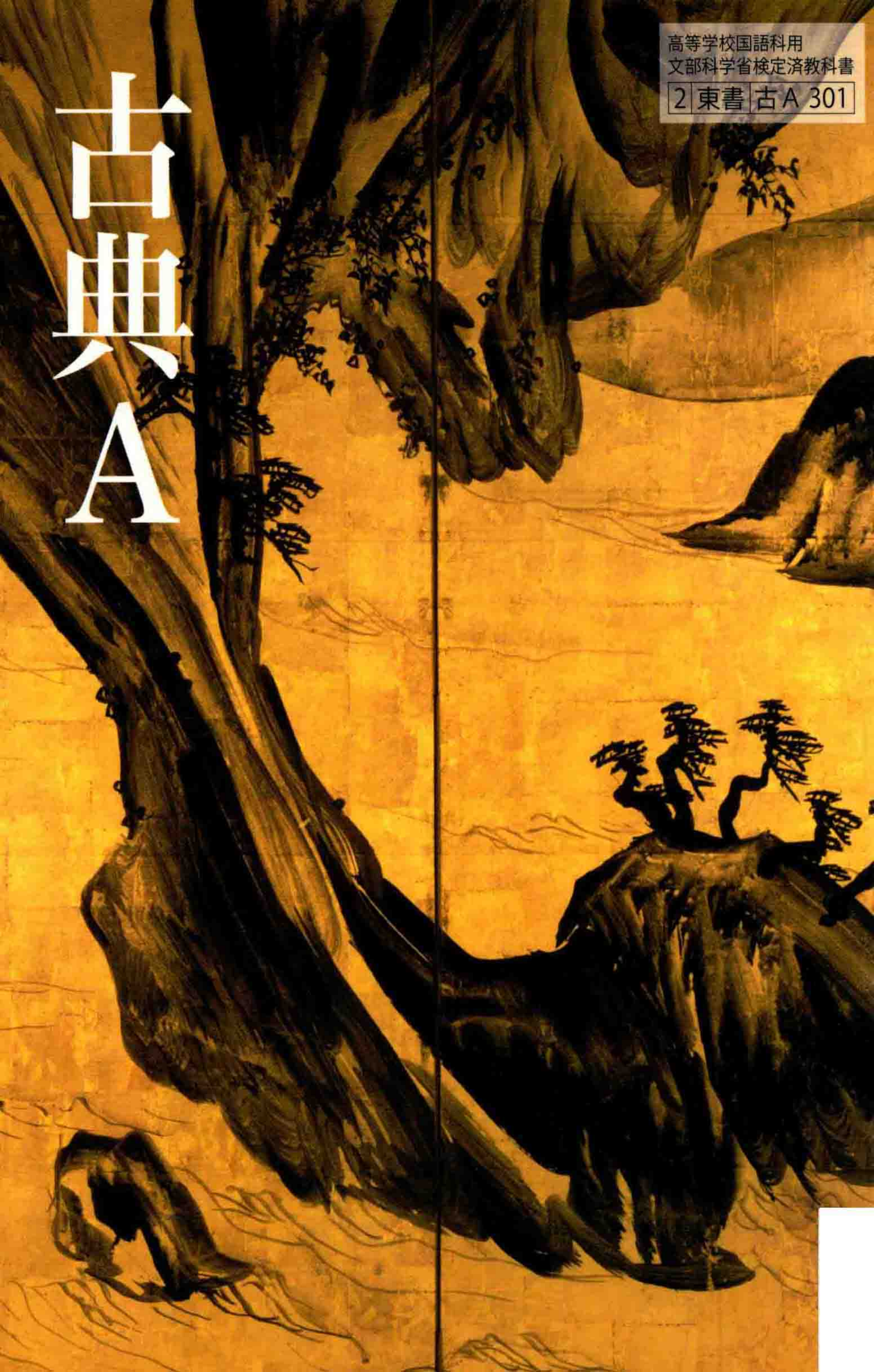


古典 A



古典 A

東京書籍



● 著作関係者

代表著作者

三角洋一

顧問

池内輝雄

小町谷照彦

石川昌紀

五木寛之

井上秀一

大上正美

小原広行

葛西太郎

兼築信行

嶋中道則

菅本大二

杉浦 晋

杉山欣也

大正大学特命教授
東京大学名誉教授

前国学院大学

東京学芸大学名誉教授

栄光学園中学高等学校

作家

前巢鴨中学・高等学校

青山学院大学

巢鴨中学・高等学校

開成高等学校

早稲田大学

東京学芸大学

梅花女子大学

埼玉大学

金沢大学

須藤 敬

高松洋司

徳田和夫

永吉寛行

能智憲二

長谷川明久

畠山昌三

林 伸樹

福島公彦

船崎多恵子

山本伸二

山本洋三

吉田 茂

吉原英夫

渡邊義浩

東京書籍株式会社

埼玉学園大学

北海道札幌平岸高等学校

学習院女子大学

神奈川県立大和南高等学校

高槻高等学校

湘南学院高等学校

高槻高等学校

神奈川県立清瀬高等学校

前東京立清瀬高等学校

前国文学研究資料館

二松学舎大学

栄光学園中学高等学校

早稲田大学本庄高等学院

北海道教育大学名誉教授

早稲田大学

●表紙・本扉

Resource, NY

●挿絵・図版・写真

山本めぐみ(エル・オッソ・ロゴス)
長沢蘆雪「海辺奇勝図」メトロポリタン美術館所蔵
アート・エフ／アフロ／新井家／石山寺／和泉市久保惣記念美術館／厳島神社／出光美術館／宇治市源氏物語ミュージアム／エイブルデザイン／NNP／OPO／北野天満宮／京都国立博物館／京都文化博物館／宮内庁／宮内庁式部職楽部／神戸市立博物館／国立国会図書館／国立大学法人九州大学附属図書館／国立歴史民俗博物館／埼玉県立歴史と民俗の博物館／(財)林原美術館／シーピーシー・フォト／JTBフォト／浄土寺／住吉大社／田中家／中央公論新社／東京国立博物館 Image:TNM Image Archives／唐招提寺／奈良国立博物館／奈良・長谷寺／人形浄瑠璃文楽座むつみ会／人間文化研究機構 国文学研究資料館／風俗博物館／フェリス女学院大学附属図書館／藤田美術館／平凡社地図出版／村上宏治／本居宣長記念館／有職文化研究所／湯島聖堂／湯島天満宮／ユニフォトプレス

P.五八・六四 「源氏物語絵巻」徳川美術館所蔵

P.六八 土佐光吉「源氏物語図屏風」メトロポリタン美術館所蔵

P.一〇九 「後鳥羽院隠岐配流図屏風」キンベル美術館所蔵

P.一二二 「曾根崎心中」国立劇場

P.一五四 土佐秀信「上田秋成」天理大学附属天理図書館所蔵

「住吉物語絵巻」重文

古典A

平成二十五年三月十五日検定済

21東書一古A301

平成二十六年一月二十日印刷

平成二十六年二月十日発行

著作者 三角洋一 ほか二十九名(別記)

発行者 東京書籍株式会社

代表者 川畑慈範

東京都北区堀船二丁目十七番一号

印刷者 株式会社リーブルテック

代表者 酒井 隆

東京都北区堀船一丁目二十三番三十一号

発行所 東京書籍株式会社

東京都北区堀船二丁目十七番一号

〒一四一八五二四

定価 文部科学大臣が認可し官報で告示した定価

(右記の定価は、各教科書取次供給所に表示します。)

電話 本社

広報〇三・五三九・七二二 編集〇三・五三九・七三三

供給・販売〇三・五三九・七二四

支社・出張所

札幌〇一・五六二・五七二 仙台〇三・二九七・二六六

東京〇三・五三九・七四六 金沢〇七・六三九・七五八

名古屋〇五・九三九・二七二 大阪〇六・六三九・二五〇

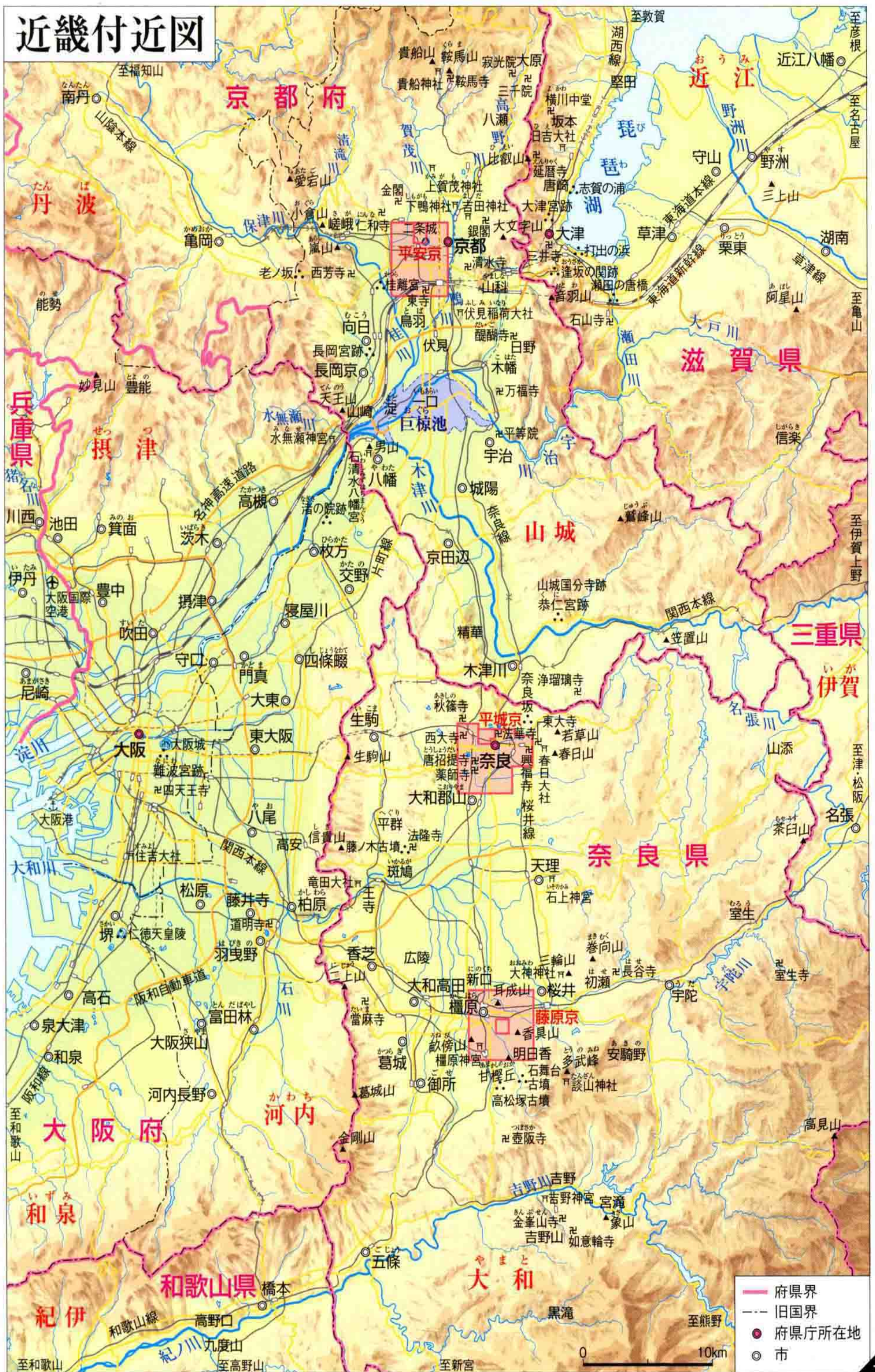
広島〇八・五六八・二五七 福岡〇九・二七二・一五三

那覇〇九・八三四・八〇八

本書の解説書・ワークブック並びにこれに類するもの
無断発行を禁ずる。

Copyright © 2014 by Tokyo Shoseki Co., Ltd., Tokyo
All rights reserved. Printed in Japan

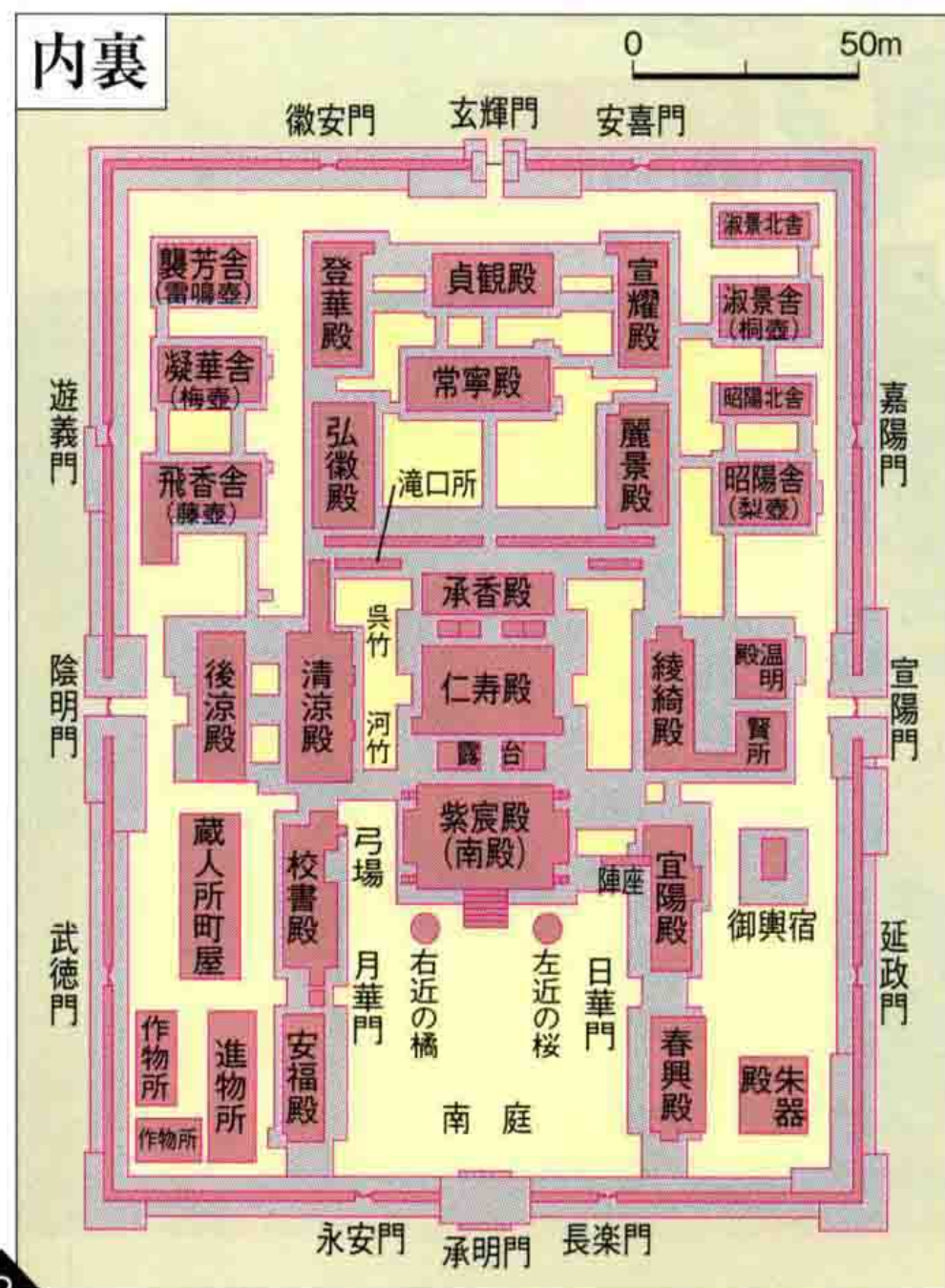
近畿付近図



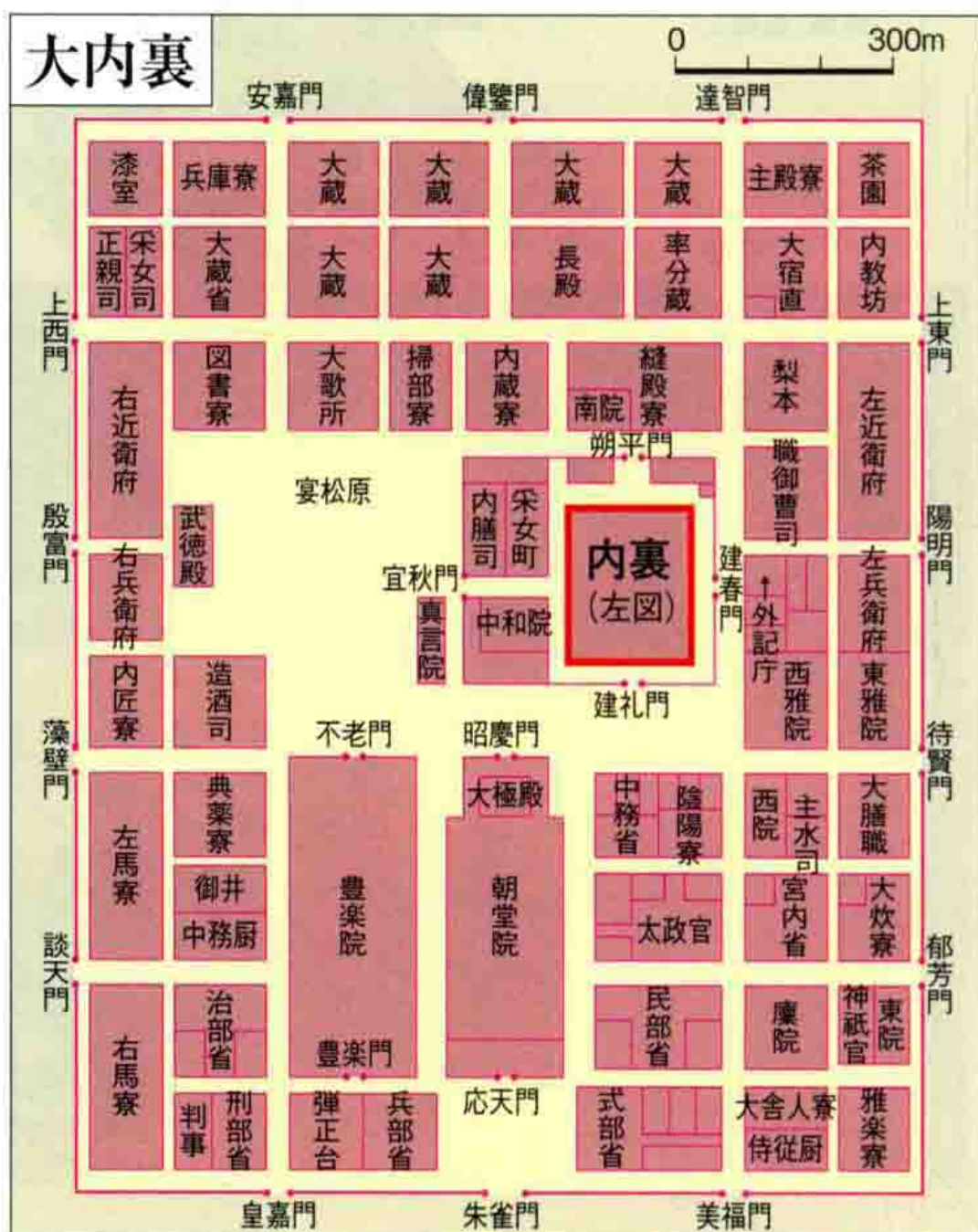
平安京条坊图



内裏



大内裏



旧国名地図

(注) 北海道は、明治2年(1869)の命名で、本図のように区分された。

東山道

陸奥(青森・岩手)
陸中(岩手・秋田)
陸前(宮城・岩手)
羽前(山形)
羽後(秋田・山形)
磐城(福島・宮城)
岩代(福島)
下野(栃木)
上野(群馬)
信濃(長野)
飛騨(岐阜)
美濃(岐阜)
近江(滋賀)

北陸道

越後(新潟)
佐渡(新潟)
越中(富山)
能登(石川)
加賀(石川)
越前(福井)
若狹(福井)

山陰道

丹波(京都・兵庫)
丹後(京都)
但馬(兵庫)
因幡(鳥取)
伯耆(鳥取)
出雲(島根)
石見(島根)
隠岐(島根)

山陽道

播磨(兵庫)
美作(岡山)
備前(岡山)
備中(岡山)
備後(広島)
安芸(広島)
周防(山口)
長門(山口)

西海道

筑前(福岡)
筑後(福岡)
豊前(福岡・大分)
豊後(大分)
肥前(佐賀・長崎)
肥後(熊本)
日向(宮崎)
大隅(鹿児島)
薩摩(鹿児島)
壱岐(長崎)
対馬(長崎)

東海道

常陸(茨城)
下総(千葉・茨城)
上総(千葉)
安房(千葉)
武蔵(東京・神奈川・埼玉)
相模(神奈川)
甲斐(山梨)
伊豆(静岡・東京)
駿河(静岡)
遠江(静岡)
三河(愛知)
尾張(愛知)
伊勢(三重)
伊賀(三重)
志摩(三重)

畿内

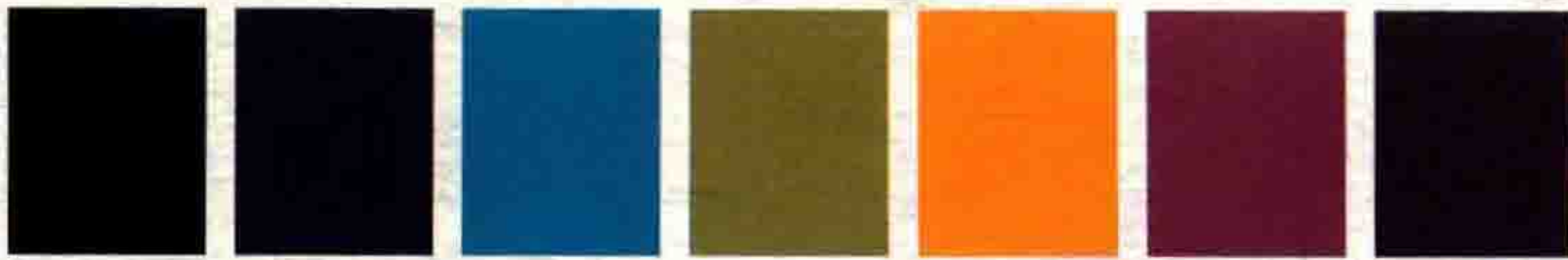
山城(京都)
大和(奈良)
河内(大阪)
和泉(大阪)
摂津(大阪・兵庫)

南海道

紀伊(和歌山・三重)
淡路(兵庫)
阿波(徳島)
讃岐(香川)
伊予(愛媛)
土佐(高知)

(注) 宝亀2年(771)、武蔵を東山道から東海道に移した。明治元年(1868)、陸奥は磐城・岩代・陸前・陸中・陸奥の五国に、出羽は羽前・羽後に細分化された。

古典にあらわれる色



すみぞめ
墨染

ふたあい
二藍

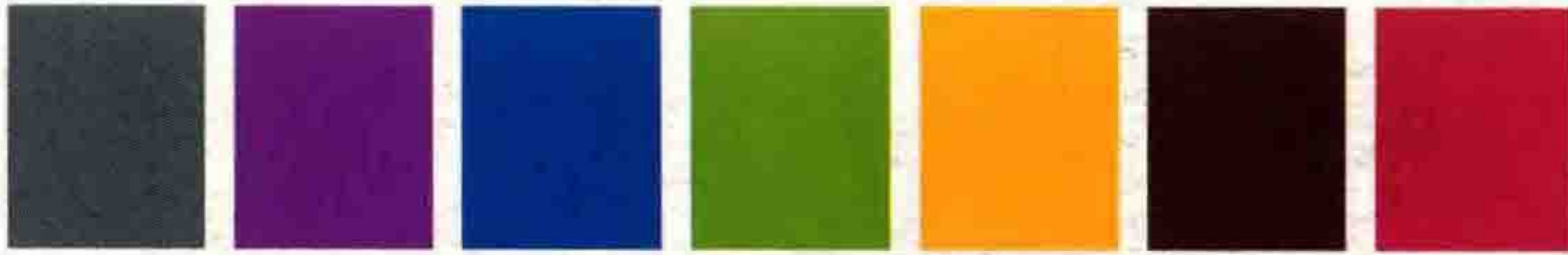
あさぎ
浅葱

あおに
青丹

かんぞう
萱草

すおう
蘇芳

えびぞめ
葡萄染



うすずみ
薄墨

むらさき
紫

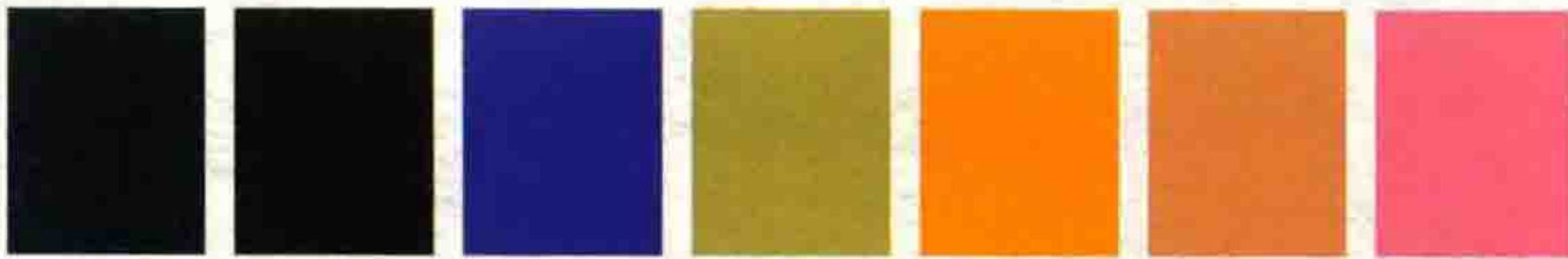
はなだ
縹

もえぎ
萌黄

くちなし
梔子

ひわだ
檜皮

くれない
紅



にび
鈍

あおにび
青鈍

しおん
紫苑

あおくちば
青朽葉

やまぶき
山吹

くちば
朽葉

こうばい
紅梅



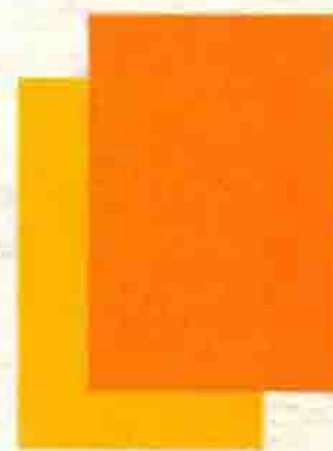
さくらがさね
桜襲

表白，裏赤・葡萄染・紫・二藍などさまざまな色が使われる。桜襲は，襲の中でも色目の種類が多いといわれる。



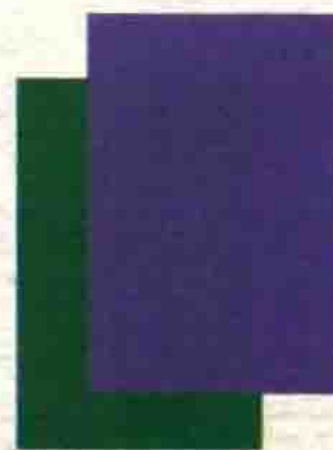
紅梅

表：紅
裏：蘇芳



山吹

表：薄朽葉
裏：黄



紫苑

表：薄紫
裏：青

かさね
襲の色目

※襲の色目の取り合わせには諸説ある。

女性の装束（中古）

唐衣・裳（十二単）

貴族の女性の正装。



桂

貴族の女性の平常服。



小桂

貴族の女性の略装。



汗衫

貴族の童女の正装。



うえのはかま 上袴

細長

貴族の女性の平常服。
桂や小桂の上に着る。



男性の装束（中古）

束帯（武官）

貴族の正装。



束帯（文官）

貴族の正装。



直衣

貴族の平常服。自宅を着る。



狩衣

貴族の平常服。狩り、蹴鞠などで着用。



褐衣

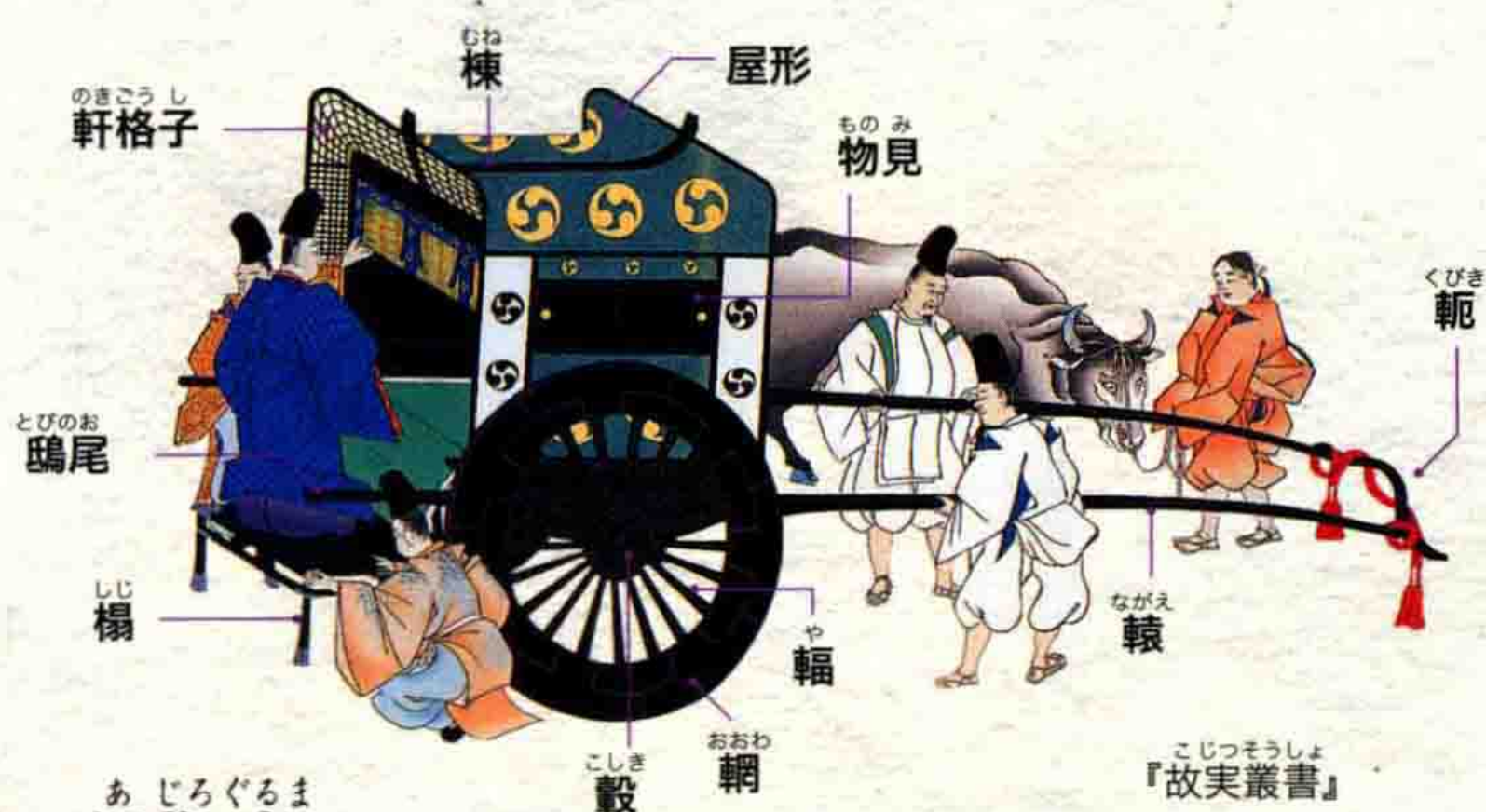
隨身など従者が着た。



武装



乗り物



牛車は、皇族や貴族たちが広く乗用し、乗用車の身分によっていろいろな種類があった。網代車は殿上人が使用した。

鳳輦

鳳輦は、天皇が重要な儀式の行幸に用いた。輿にはほかに、葱花輦など、時代や身分によっていろいろな種類があった。



『年中行事絵巻』

近世の服装



ゆしまてんまんぐう
▲ 湯島天神満宮
てんじん
(湯島天神)

すがわらのみちざね
菅原道真をまつる。



▲ 湯島聖堂

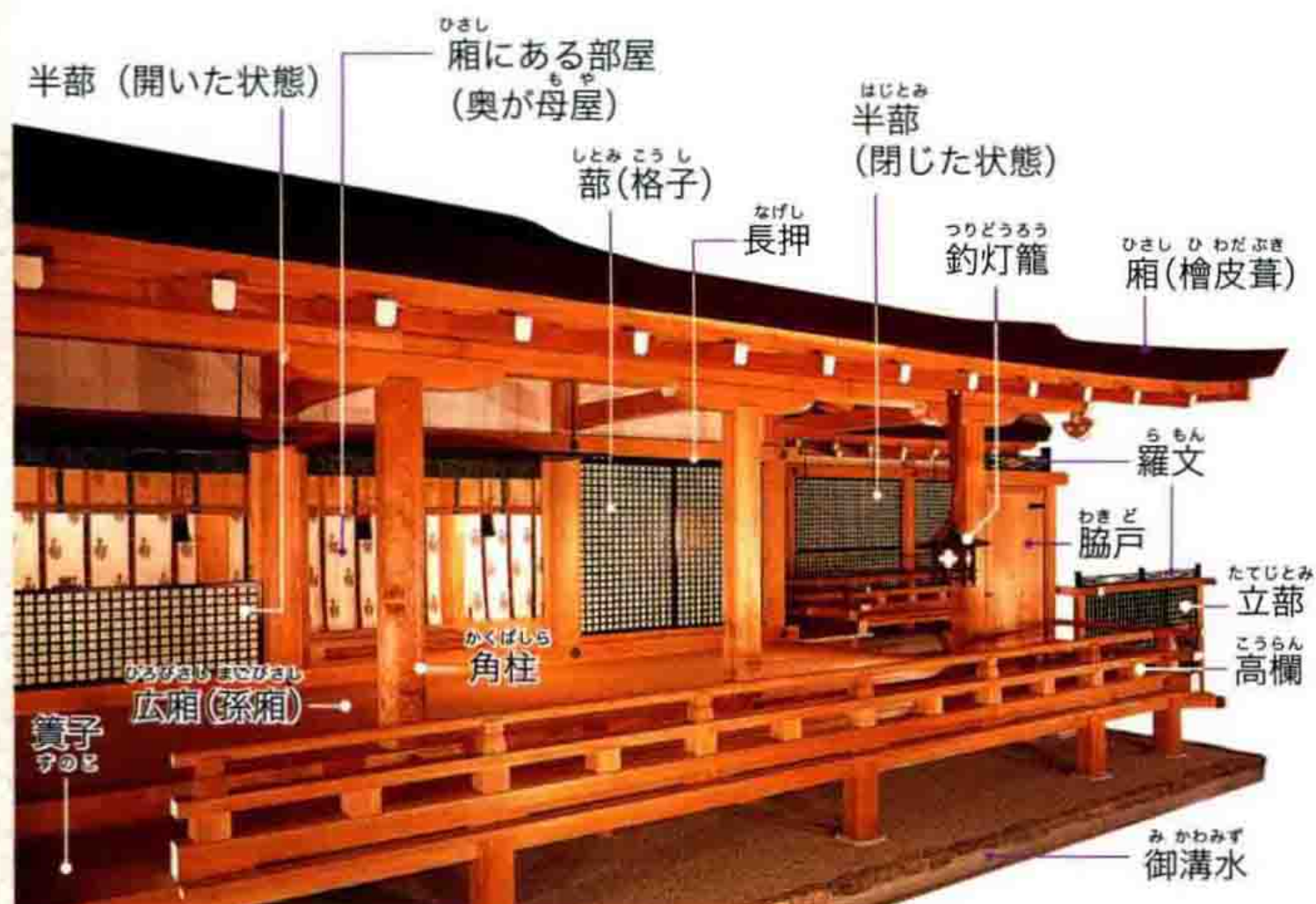
五代将軍徳川綱吉が儒学つなよしの振興を図り建設。孔子こうしをまつる。

住居



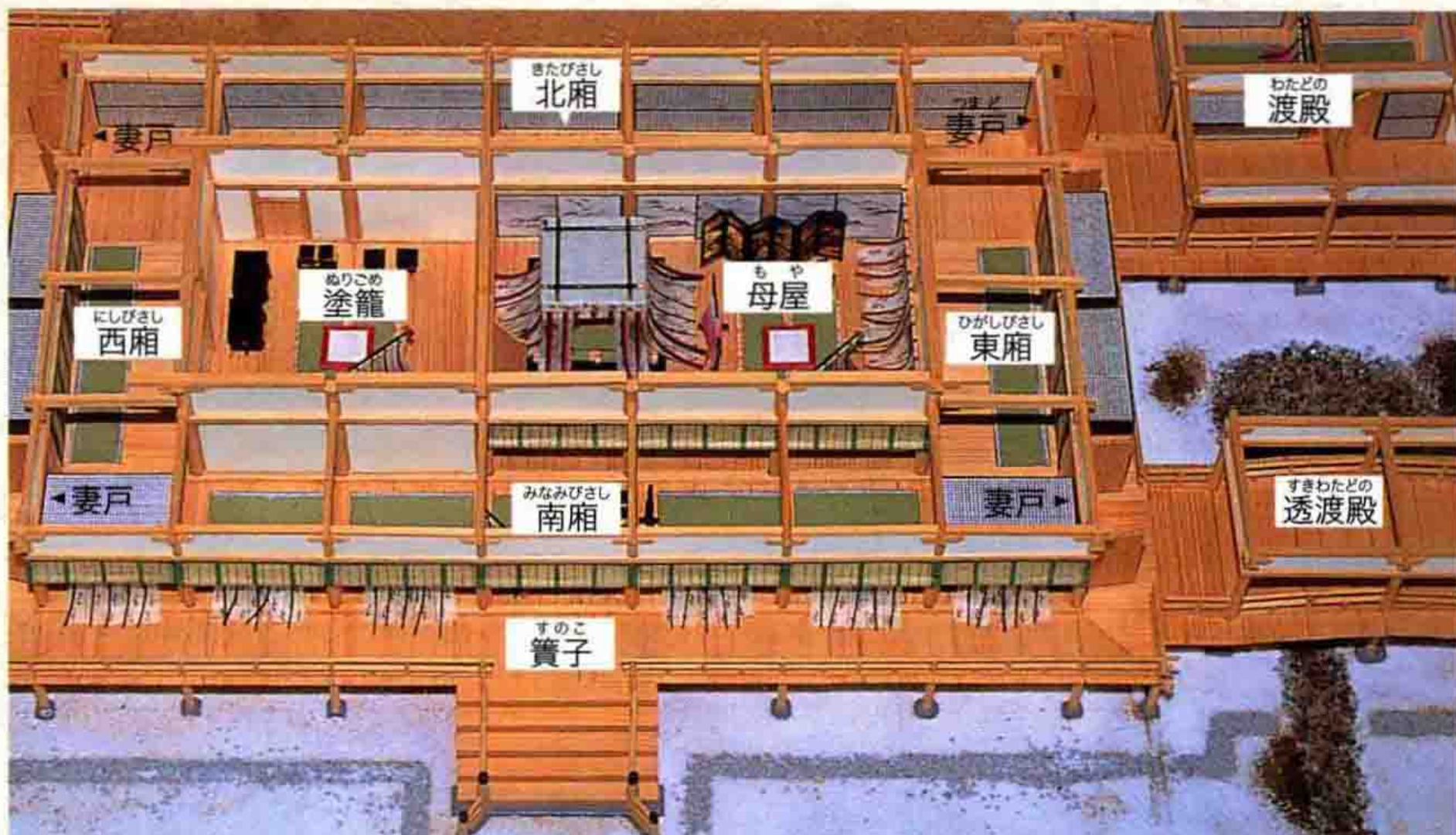
寝殿造り

寝殿造りは、平安時代に完成した貴族の邸宅の様式で、^{ちよう}たいていは一町（条坊制では約120メートル四方）の敷地の中央に、一家の主人の住居である寝殿を置き、その東・西・北に家族の住む^{たい}対の屋を建て、それぞれ渡殿という屋根の付いた廊下でつなぐ。寝殿の正面（南側）には行事にも使用される広い庭があり、そこには築山や、反橋で中島に渡れる池が設けられている。



清涼殿弘徽殿の上の御局復元模型

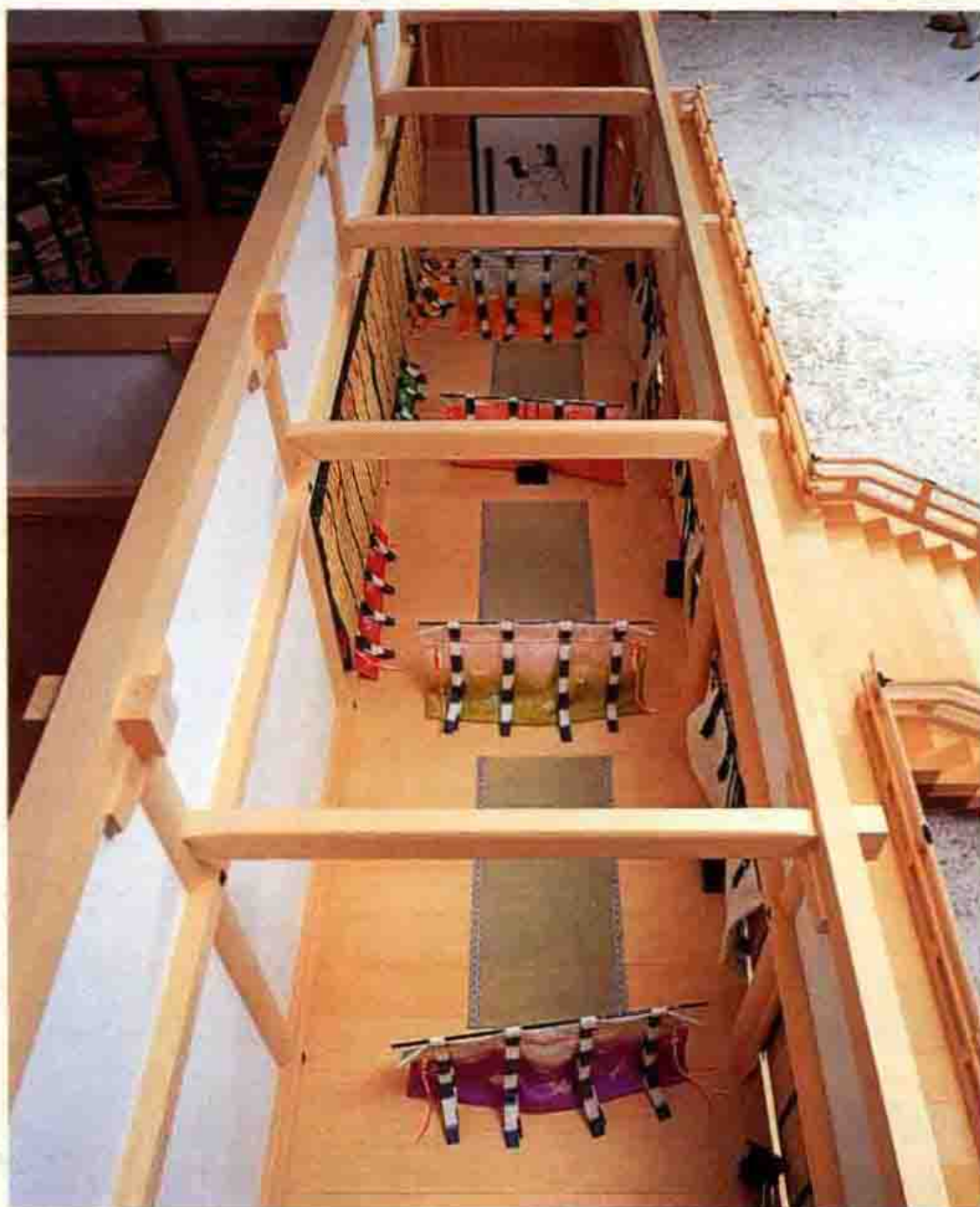
半部は二枚構造で、上の一枚を釣り上げて開いた。廂（の間）と簀子の間には、広廂（孫廂）が加えられることがあった。86 ページ参照。



考証・製作 中部大学 池浩三研究室

▲ 寝殿の内部

寝殿の内部は、母屋、廂、簀子の三部分から成る。寝所や納戸に使った塗籠以外には壁がなく、几帳や障子などで間仕切りをした。廂の四隅には出入り用の妻戸がある。寝殿と対の屋を結ぶ廊下を渡殿というが、南側の吹き放しになっている渡殿を透渡殿という。一方、北側の渡殿は、半分を廊下、半分を部屋として用いた。



◀ ひさし 廂

母屋の東西南北にある、細長い空間。簾、壁代、几帳などで仕切り、畳を敷くことで部屋として用いた。廂の間ともいう。



宮女

▲ 簪花仕女図 (唐)



文官

▲ 唐の文官



武官

冕
皇帝から大夫までが使う礼装用の冠。

服装



女帝

▲ 則天武后



皇帝

▲ 皇帝 (唐の太宗) の
平常服



皇帝

▲ 皇帝 (晋の武帝) の礼装
皇帝などの着る袞



▲ 西域の人

中央アジアなどの西方の出身者。



▲ 匈奴

前漢時代に大きな勢力となった遊牧民。

漢族以外の人々

銅矢箆



銅矢

銅矢箆

「箆」は「えびら」。
矢を入れるもの。

武器



戟

複数方向に刃が
ついている。



銅弩

機械じかけで射る強い弓。



銅盔 兵士の兜。



銅盾
(戦国時代)



銅矛 (戦国時代)



帛書

(前漢) 絹の布に書かれたもの。



竹簡 (戦国時代)

細かく割った竹に書かれたもの。

紙以前の文献

中国参考地図



作品中に出てくるものを中心に、現在と名称が異なる大都市については昔の都市を〔 〕に入れて示した。なお、〔 〕内の名称は原則として唐の時代のものを用いている。

1 物語

伊勢物語

月やあらぬ【第四段】……………8

狩りの使ひ【第六十九段】……………9

小野の雪【第八十三段】……………12

大和物語

安積山【第一百五十五段】……………14

うつほ物語

……………16

とりかへばや物語

……………20

雅楽の楽器

……………23

松浦宮物語

藤原定家……………24

住吉物語

……………28

源氏物語

紫式部

文学史における『源氏物語』……………34

2 歴史

大鏡

時平の大臣……………80 東三条院と道長……………92

最後の除目……………84 鶯宿梅……………96

隆家と道長……………88 翁たちの退場……………98

栄花物語

伊周・隆家の配流……………100

今鏡

寂超 歌人頼実……………106

増鏡

新島守……………108

コラム②『大鏡』の対話形式……………111

平家物語

足摺【巻第三】……………112

知章最期【巻第九】……………118

横笛【巻第十】……………122

太平記

俊基朝臣海道下り……………126

言語活動② 道行文の朗読……………131